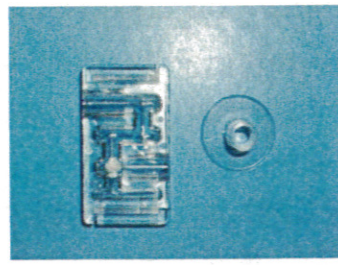
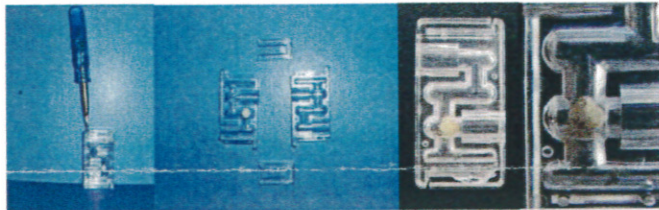


AC-007 の簡易メンテナンス



使用頻度の高いフィルターユニットは、唾液やホコリ・その他の汚れ等で水滴がたまっている場合があります。そんな時は、本体よりフィルターユニットを取り外し解体して洗浄して下さい。

* 2個フィルターユニットは付属されておりますので毎日交換洗浄をお勧めします。



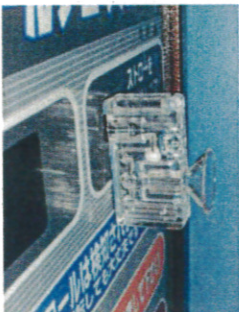
分解方法

汚れのイメージ

フィルターユニット本体の上下にある接続部分にマイナスドライバー等を差込むと簡単に分解できます。フィルターユニット内の白い玉は無くさない様にして下さい。中性洗剤等で分解したフィルターユニットを洗い、水分が無くなるまで完全に拭きとって下さい。その後は再び白い玉を中に入れフィルターユニットを装着してください。水分が残っておりますと故障の原因となりますのでご注意ください。

フィルターユニットの取り付け位置

正しい取付方法



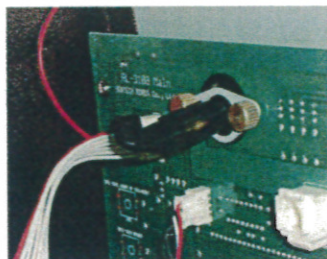
本体から出ている透明なパイプに対しストロー差し口は下にして下さい。フィルターユニット内に溜まった水滴がセンサー内部へ流れて行くのを防ぐ為です。

誤った取付方法



ストロー差し口を上向きにしてのご使用は唾液やホコリがセンサーに混入する恐れがありますので止めてください。

チェッカー本体内のパイプ類の掃除

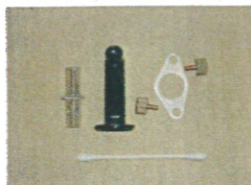
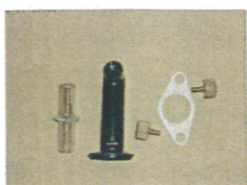


アルコールチェッカー本体の裏フタを開ける時は、必ず電源を切り、配線を外してから行って下さい。

センサーユニットを黒いパイプより外して、ネジを回しパイプを本体より外して下さい。外したパイプ類は水や中性洗剤で洗い、水分が完全に無くなるまでよく拭き取ってください。(黒いパイプ内に水が残しやすいので綿棒等を使用すると拭き取りに便利です。)よく拭き取ったパイプ類を再び本体に取り付けアルコール検査にご使用下さい。

フィルターユニットや本体内のパイプ類を定期的に分解・洗浄して頂くと、より正確にアルコール度数を計測する事が出来、またセンサーユニットの持続力向上を促す事にもなります。

又、内部のクロパイプのセンサー設置口に緩みが発生した場合はブローエラーの原因となりますので交換が必要となります。



AC007ST アルコールチェッカーメンテナンスについて

アルコールチェッカーはセンサー部に半導体ガスセンサーを使用しており、他の検知器と同様に定期的なメンテナンスが必要となります。日々の使用期間や回数が経過するにつれ、内部の材質に変化(表面材質の消耗)が生じます。この摩耗や劣化を定期的に校正・交換するためにメンテナンスする必要が御座います。メンテナンスをすることによりセンサー部の劣化を最小限に抑えより正確な数値を確認することが出来ます。使用状況(メンテナンスの回数や使用回数)にもよりますが約3000回に1回メンテナンス・交換をお勧めいたします。メンテナンスを行わず使用しておりますと過剰反応や無反応といった誤動作を起こす場合がありますのでご注意ください。メンテナンスに関しましては1年間 保証にて行わせていただいております。保証期間外につきましては別途有償にて行わせて頂きます。

又、AC007ST 本体付属品のフィルターユニットは必ず定期的に分解洗浄し清潔な空気が常に送りこまれるようお願いいたします。分解洗浄を行いませんとフィルターユニット内部に溜まった唾液等により正確な数字が表記されず、センサー不良の原因になる場合もございますのでご注意ください。又、別売にてセンサーユニットがございますので予備用として購入されますとメンテナンス時の検査ロスを防止することが出来ますのでセット購入をお勧めします。

(メンテナンス時はセンサーを当社にお送りいただく必要が御座います)

* メンテナンス時にセンサーユニットやデモ機の貸し出しはおこなっておりません。

* センサーは消耗品のため 1 年後のセンサーメンテナンスの保障期間は2ヶ月もしくは1000回以内となります。

AC007ST アルコールチェッカーのエラー表示について

1、**SEn** ⇒ 自己診断機能によりセンサー内部での異常感知された場合に表示さ

せます。特にセンサー内部のよごれによる断線等にて表示されます。

* カウントダウン中 40 秒から遅くなる場合は汚れが原因です。

* カウントダウン後に表示された場合は汚れによる断線が原因です。

対応方法 センサーのメンテナンス交換が必要となります。

2、**bEr** ⇒ 正しく呼気サンプルが採取されなかった場合に表示されます。

センサーユニットのクロパイプ外れの息漏れや、クロパイプのホコリによる詰まりが発生した場合に表示されます。

対応方法 裏面よりセンサーの設置を確認してください。

クロパイプをはずし内部洗浄してください(ゆるい場合は交換が必要です。)

3、**Er4** ⇒ センサーが長期メンテナンスされず、唾液などで汚れ正しく機能できない場合に表示されます。

対応方法 センサーのメンテナンス交換が必要となります。

* センサーの交換時は電源をOFFに必ず電源コードも抜きぬいた状態にて作業をおこなってください。通電状態での作業は故障の原因となりますので絶対におやめください。